



八石小だより

【学校のスローガン】

みんな大切～プラスの言葉があふれる八石小学校～

新座市立八石小学校
令和 8 年度 No. 2
令和 8 年 5 月 1 日
新座市野寺 2 丁目 8 番 4 5 号
TEL 048-477-6701
児童数 5 月 1 日 現在 290 名

学ぶ喜び、調べる面白さ

校長 村石 和久

【校名の由来、ご存じですか？】

八石小学校に着任し、1 ヶ月が経ちました。着任にあたり、まず気になったのは、学校名「八石」の由来でした。調べてみると、今から約 150 年ほど前、江戸時代後期にまとめられた地誌に、栗原村の飛び地として「字八石」という地名が載っていたことがわかりました。また、この辺りではお米が「八石（約 1,200kg）」とれた、という記録も残っているそうです。この辺りが、豊かな水田地帯で、黒目川の恵みを受けて実り多い土地だったことが想像できます。この地「字八石」に学校ができたことから、昭和 44 年 4 月 1 日に「八石小学校」と名付けられました。

校章にも、この由来が生きています。中心に置かれた「石」には、力強い心と体、そして強い意志をもって育ててほしいという願いが込められ、八石小学校で育った子どもが明るくのびのびと八方に育っていく姿を表しています。名前の意味や歴史を知ること、地域や学校への愛着が一層深まると感じました。

【信号の色は、緑やねん！】



もう一つ、最近の出来事から「調べることの面白さ」をお伝えします。先日、街で信号待ちをしていると親子の会話が耳に入りました。お母さんと男の子 2 人（小学 1 年生くらいの子と幼稚園くらいの子）です。会話からすると関西の方のようです。

信号が変わり、音声案内が「信号が青になりました」と流れると、小 1 くらいの男の子が「信号の色は緑や！」と音声案内に突っ込みを入れました。すると、すかさず今度は幼稚園くらいの弟も「そうや、緑や！」と続けます。確かに信号

の見た目は、どう見ても緑色です。

また音声「信号が青になりました」と流れると、兄弟で「だから緑やねん！」「そうや、緑や、緑や！」と何度もはやしたてます。一緒にいたお母さんは、次第に困った感じになりました。私ならなんと答えて子どもたちを納得させられるかなと横を歩きながら考えていると、そのお母さんは、少し強引に「あれは緑でも青っていうの！」と子どもたちを説き伏せていました。

帰宅後、このことが気になり調べてみると、昔の日本語では「青」という言葉が今の「青」と「緑」の両方を広く表していたことがわかりました。「青菜」「青竹」「青りんご」といった言い回しは、その名残です。だから今でも信号の「緑」を「青」と呼ぶとのことでした。

たった一つの言葉からでも、世界が広がっていきます。子どもたちには、「調べてわかる面白さ」「学んでつながる楽しさ」を日々の学習で体験してほしいと願っています。わからないことに出会ったとき、「なぜだろう？」と立ち止まり、自分で調べ、確かめ、納得する。その積み重ねが、学ぶ喜びを育み、将来の学びにもつながっていきます。ご家庭でも、もしお子さんが疑問を口にしたら、すぐに答えを教えるのではなく、「一緒に調べてみようか」と声をかけていただくと嬉しいです。図鑑や辞書、インターネット、地域の方のお話など、身近なところに学びの手がかりはたくさんあります。保護者の皆さまと共に、子どもたちの「知りたい」「やってみよう」を育てていければと思います。

